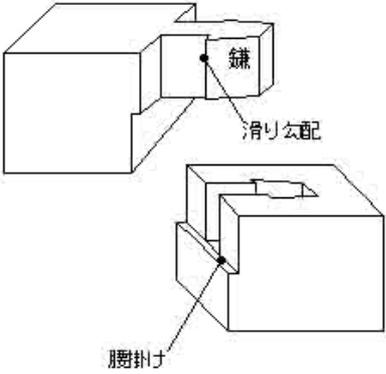


第1学年〇組 工業（工業技術基礎）学習指導案

| | |
|----------|---|
| 単元 | 仕口・継手加工 |
| 単元目標 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 仕口・継手の基本構造，部材の接合について理解している。 ○ 手工具を正しく使用することができる。 ○ 正確に継手を製作することができる。 |
| 指導計画 | <p>第一次 手工具の構造・手入れ方法（12時間）</p> <p>第二次 腰掛鎌継ぎ製作（12時間）</p> <p>第1～3時：罫書き</p> <p>第4～6時：鋸作業（本時）</p> <p>第7～9時：ノミ作業</p> <p>第10～12時：調整・組み合わせ</p> |
| 指導上の立場 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の実態 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本クラスの生徒は，道具を使ってものをつくることに興味・関心を持っている。中学校の技術・家庭科において，木工作業を経験しているものの，手工具の手入れや，仕口・継ぎ手の加工については，学習していない。 ○ 単元観 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本単元では，手工具の取り扱い方について理解させ，今後の作品製作に必要な基礎・基本的な技能を身に付けさせる。 ○ 本単元で工夫する点や手だて <ul style="list-style-type: none"> ・ 製作見本を提示し，完成イメージを持たせる。 |
| 研究仮説との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 教師がきちんと教えること <ul style="list-style-type: none"> ・ 部材の名称 ・ 部材にかかる力 ・ 部材の組み立て方 ○ 生徒に自分で学ばせること <ul style="list-style-type: none"> ・ 加工精度を考えた効率的な作業 ○ 関連するおもな科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ インテリア科2年 インテリアエレメント生産 |

| | | | | | |
|--|--|----------------|--|-----------|------------|
| <p>本時 目標</p> | <p>○ ものづくりの基本である鋸の使い方を理解している。 ○ 完成をイメージした作業ができる。</p> | | | | |
| <p>準備</p> | <p>① 木材 ② 鋸</p> | | | | |
| <p>学習活動・内容 (<u>下線部</u>は,"生徒に自分で学ばせること")</p> | | <p>準備</p> | <p>手だて (○) と評価 (◆)</p> | <p>形態</p> | <p>配時</p> |
| <p>1 前時間の説明及び本時の学習のめあてを聞く。</p> <p><学習のめあて></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>実践を通して、手工具の使い方を理解しよう。</p> </div> | | | <p>○ 前回までに学んだ手工具の内容説明が分かっているか質問する。</p> | <p>一斉</p> | <p>5</p> |
| <p>2 腰掛鎌継ぎ製作。</p> <p>(1) 腰掛鎌継ぎの上木部分を製作する。</p> <p style="text-align: center;"><u>鋸をまっすぐ持ち切断する。</u></p> | | <p>① ②</p> | <p>○ 罫書き線を残して切断するように指示する。</p> <p>◆ 指示通りに切断できているか。</p> | <p>個</p> | <p>135</p> |
| <p>(2) 腰掛鎌継ぎの下木部分を製作する。</p> <p style="text-align: center;"><u>鋸をまっすぐ持ち切断する。</u></p> | | <p>① ②</p> | <div style="text-align: center;">  </div> <p>◆ 完成をイメージして作業しているか。</p> | | |
| <p>3 本時の学習を振り返り、次回の予告を聞く。</p> | | | <p>○ 鋸の正確な使い方を確認する。 ○ ノミの作業工程を説明する。</p> | <p>一斉</p> | <p>10</p> |
| <p>「努力を要する」生徒への具体的な手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時で罫書き作業が終了していない。 → 個別に正確な罫書き作業の指導を行う。 ・ 上手く鋸を使用することができない。 → 個別に使い方のコツを指導する。 | | | | | |